

ばわわ 26号

ばわわとは?
ばわ 天白を元気にする**カ(パワー)**
わ 地域をつなげる**輪(わ)**と**和める(わ)**たまり場づくり
 そんな思いがひとつになって**ばわわ**と名づけました!

発行 **社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会**
 情報紙「ばわわ」プロジェクト
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301
 原ターミナルビル3階
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
 http://www.tenpaku-shakyo.com
 編集 株式会社 リベルタ
 〒468-0053 名古屋市天白区植田南3-501パークハイツ103号
 TEL:052-808-0420 FAX:052-808-0421
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ばわわ」へのご意見、ご感想も
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のまま読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



地域福祉推進協議会の事業を中心に、身近な地域の取り組みを紹介しています。第4回は平針南学区です。

地域福祉推進協議会は、地域住民みんなで“誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり”をめざした取り組みを行うことを目的に、小学校区ごとに設置されている団体です。

くろ〜ずあつぷ!

受け継いで 25年ふれあい食事会

ふれあい食事会が25周年を迎えた平針南学区地域福祉推進協議会。天白区で最初に食事会を始め、平成8年からは区内で唯一の配食サービスも実施しています。今回は、長年受け継がれてきた食事会と配食サービスの取り組みをご紹介します。

サイコーです！ふれあい食事会

ドアを開けると、おいしそうな香りがただよってきました。今日のメニューはカレーライス。約50名の参加者のにぎやかな話し声と、カチャカチャと楽しげなお皿の音に包まれて、いるだけで笑顔になれる雰囲気です。

「楽しくお話しができて、新しい友だちもできて、街角で会うと声をかけてもらえる。食事会が待ち遠しい」と、森瀬貞子さん(88歳)。なんと20年間ほとんど欠席せず参加されています。この日初めて参加された中野和子さん(78歳)は「始めの一步が踏み出せませんでした。民生委員さんに誘っていただいて来ました」とのこと。同じく初参加の和田多恵さん(81歳)は「大勢の方と一緒に食事は、気分的にもおいしいですね」。お二人とも口を揃えて「これからも参加したい」と笑顔でした。食事会の立ち上げ時にはスタッフだった田中トヨ子さん(85歳)は「始めた頃は、会場が狭くて苦労しました。当時買い揃えた茶碗が今もあり、懐かしいなあと思います。この会はサイコーです!(笑)」



大勢の参加者が集まる食事会



森瀬貞子さん(左)と田中トヨ子さん

食後には健康体操も行われ、皆さんはより元気になって帰られました。

手作り弁当を手渡して。配食サービス

調理開始は朝9時頃から。取材時は、4人のボランティアさんが22人分の弁当を作っていました。この日のメニューは、梅ごはんに鮭の塩焼き、冬瓜のうま煮など。手際よい調理で、配達ボランティアさんが取りに来る11時半頃に合わせて完成させるのは、さすがです。配達ボランティアさんは老人クラブの男性3人。弁当を受け取ると、地図で場所を確認して出発!

「こんにちは、お弁当ですよ〜」と玄関を開けて声をかけながら手渡しで配達します。利用者の森島博雄さん(80歳)は「長生きしてよかった。おいしいお弁当をボランティアの方が作って、それをまたボランティアの方が持って来てくださる。日本中で他にこんなところがあるんですかねえ」とのこと。利用されている

どなたに聞いても「大変美味しく、楽しくいただいています」とおっしゃいます。



笑顔の森島さんご夫妻



完成したお弁当



てきぱきと調理が進みます

いつまでも安心して暮らせる地域を願って

「食事会は、孤独になりがちな独居高齢者の方に、おしゃべりと食事を楽しんでいただくことが目的です。配食サービスは、栄養バランスに配慮することと、手渡しによるお元気確認の意味もあります」と、ボランティアの牧素子さんと浅井知子さんは言います。

始めは約30人だった独居高齢者の方は、現在250人に増えました。久富純さんは「将来は配食サービスを週1回に増やしたいです」。学区全体での見守りで、安心して暮らせる地域づくりへの思いが伝わります。



ボランティアの皆さん

ボランティア募集中!

ボランティアさんは現在22名。参加1年目から25年のベテランまで皆さん「楽しいし、料理の勉強にもなる」と笑顔です。充実した活動のため、多くのボランティアさんを求めています。あなたも是非! 食事会と配食、ボランティアの問い合わせは浅井知子さんまで(TEL: 803-8716)

ふれあい食事会

日時: 第3月曜日11:30~13:30
 会場: 平針南コミュニティセンター
 参加費: 200円
 対象者: 平針南学区にお住まいの65歳以上のひとり暮らしの方

配食サービス

実施日: 第1・2・4月曜日のうち2回
 利用料: 400円
 対象者: 平針南学区にお住まいの65歳以上のひとり暮らしの方または高齢者夫婦



これは昭和34年頃に撮影された天白区内のある小学校です。さあ、どこか分かるかな? 答えはP.3です。(写真提供: 森山 肇さん)【昔の写真募集中!】

心、穏やかに健康で明るい生活!

高坂福祉会
 社会福祉法人 高坂福祉会

募集中
 介護職員・パート

高坂苑
 特別養護老人ホーム
 ◆デイサービス
 ◆居宅介護支援事業所
 ◆ショートステイ
 ◆訪問介護 ◆訪問入浴
 ◆福祉用具
 ◆配食サービス

〒天白区高坂町197-1
☎805-0100

〒天白区大根町58
デイサービスセンター 大根 ☎808-8200

〒天白区高坂町196-1
グループホーム 高坂苑 ☎805-1220

〒天白区平針3-1503
有料老人ホーム 寿シニアハウス 平針 ☎807-3373

ホームページアドレス <http://www.takasaka.info/>

社会福祉法人 八事福祉会

〒天白区大坪二丁目801番地
☎834-3000

◆特別養護老人ホーム 八事苑
 ◆デイサービスセンター 八事苑
 ◆ショートステイ
 ◆居宅介護支援事業所 八事苑
 ◆天白区西部地域包括支援センター
 <姉妹施設> 特別養護老人ホーム 第二八事苑

◆介護職員等を募集しております
 「やさしい心」が何よりの資格です。
 お気軽にお電話ください。
☎834-3000 <担当> 丹羽

庭に畑・畳のある部屋
 「馴染みの暮らし」
 をつづけます

介護スタッフ
 募集中
 くわしくはHPを
 見てください!

小規模多機能 ひらばり ☎052-433-5192
 グループホーム 向が丘 ☎052-433-6111
 グループホーム ひらばり ☎052-800-0026
 グループホーム 向の山 ☎052-893-6487
 小規模多機能 向の山 ☎052-893-6488
 天白区向が丘4丁目1001 <http://hohoemi33.co.jp>

安江内科クリニック
 YASUE CLINIC

診療科目 内科・消化器科・小児科
 診療時間
 午前 9:00~12:30
 午後 4:30~7:30
 休日 土曜午後・日曜・祝日

〒天白区大根町370(天白消防署西隣)
☎(052) 848-1788



第4回 こんなときは ▶▶ こうしよう!

地震に備えるには

「東海・東南海地震」がいつ起こってもおかしくない状況。でも、分かっているにもかかわらずなかなか取り組めないのが「備え」です。今回は、改めて地震への備えの大切さをお伝えします。

Q 防災の考え方には下の3つがあります。この中でどれが大切だと思いますか？

自助

自分や家族を守るための
自分の努力

共助

地域住民が
お互いに助け合う

公助

行政が取り組む災害対策

A 答えは“それぞれが役割をしっかりと果たす”です。でも…

実は、何でも頼りがちの「公助」には限界があり、地震直後からしばらくは防災関係機関の活動は十分に機能しません。地震による被害は広範囲なので「公助」で働く人たちも多くが被災します。救急車や消防車は圧倒的に数が足りず、レスキューが来ないかもしれません。避難所の設置には時間が必要です。備蓄物資は足りず、緊急物資もすぐには届かないでしょう。

つまり、特に震災の初期対応では「公助」に頼りっぱなしではいけない。自分の身は自分で、自分の地域は自分たちで守る、「自助」「共助」がとても重要なのです。

自助

必要なことは、まずは自分や家族の命を守ること。家の中や外で命を守るには家屋の耐震補強、家具の転倒防止をし、倒れやすい物に近寄らないことが重要です。最低3日分の食糧や水のほか、家族の状況に応じた備蓄品(常用薬、紙オムツや離乳食、生理用品、アレルギーのある方の食品、小銭など)、忘れがちだけど不可欠なものもたくさんあります。

共助

阪神・淡路大震災で救助された方の8割以上が、地域の人たちの助け合いで救助されました。震災で倒壊した近隣の家を見て、救助しようと思っても、その家の人を知らなければ、誰を何人助け出せばいいかわかりません。いざというときに助け合うためにも、日頃からの地域関係が大切です。地域の防災訓練にも積極的に参加しましょう。

の
取
り
組
み

天白区社会福祉協議会
日頃の取り組み: 「災害に強いまちづくり」を目的に活動しているボランティア団体「天白でいぶり」の運営に協力しています。天白でいぶりでは防災に関する勉強会やイベントを開催しています。防災に興味がある方、一緒に活動しませんか？
災害時の取り組み: 震災から数日後には災害ボランティアセンターを設置し、天白でいぶりと協力して、被災者の家の片付けなど様々なニーズに対応するボランティアを全国から受け入れ、必要なところに派遣します。震災後、こうした支えがあることも覚えておいてください。詳細については、天白区社会福祉協議会へお問い合わせください。



ぱわわひろば

読者のお便り



サンタクロースが来てくれる!?

昨年のクリスマス、地域の子育てサロンに参加したときにサンタクロースが登場してビックリ。サロンの方が、社会福祉協議会から来てもらったと言っていたような…。今、近所のママたちと協力して小さな子育てサロンを開いていますが、サンタさんは来てくれますか？(天白区在住 サンタママさん)



社協からのコメント

ご質問いただいたサンタさんは、天白区社会福祉協議会が実施している「サンタクロース派遣事業」で派遣したサンタさんです。この事業は「高齢者の皆さんの活躍の場をつくらう!」との思いで始めたもので、派遣するサンタさんは天白区にお住まいの50歳以上のボランティアさん、なんと、衣装も洋裁が得意なボランティアさんによる手作りなんです! 個人のための派遣はしていませんが、グループで活動しているサークルやサロンであれば派遣できますよ。

【サンタさんに来てほしい方】

申込方法: 毎年9月下旬ごろから募集を行います(締切は11月初旬を予定)。
●プレゼントを配ったり、簡単な質問に答えたり、一緒に写真を撮ったりできます。
●派遣は無料です。衣装のみの貸出もできます。サンタさんはとても忙しいので、ご依頼にお応えできない場合もあります。

【あなたもサンタさんになってみませんか?】

サンタクロースボランティアは、目を輝かせる子どもたちに囲まれて、喜ばせるはずのボランティアの方が喜びと元気をもらえる楽しい活動です。現在45名の方が登録されています。

募集条件: 天白区内にお住まいの50歳以上の方。性別は問いません。活動内容をもっと知りたい方は、先輩サンタさんの体験談が聞ける「サンタクロースボランティア交流会」にぜひご参加ください!

日時: 11月9日(火) 13:30~15:30

会場: 天白区在宅サービスセンター(地下鉄原真上3階)

問合せ先: 天白区社会福祉協議会/通木(つうき)(連絡先は本紙1面上部に記載)

読者の皆様のご意見やエピソードなどを募集しています。情報紙「ぱわわ」プロジェクトあて、郵送またはメール、FAXにてお送りください(連絡先は表紙上部に記載してあります)。文字数は300字以内をお願いします。なお、掲載にあたっては、意味を損ねない程度に編集する場合があります。



区民100人アンケート結果

非常用品(懐中電灯、ラジオ、救急用品など)を備えている☑	74人
非常食(水、緊急時の食料)を備えている☑	61人
家具の転倒・落下防止をしている☑	53人
避難所の場所を知っている☑	81人
家族と、災害時に合う場所を決めている☑	50人
地域の防災訓練に参加している☑	25人



震災時の食料やトイレは大切なので心配ですね。普段、娘が学生のとき使っていたヘルメットを寝室の足元に用意していますが、いざというときに使えるかどうか…。(O.Mさん 60代 女性)

◎家具転倒防止のグッズは買ってあるけれど、まだ取り付けていません。非常食は高いしいつか期限が切れてしまうので、なかなか買う気になれないですね。(Y.Tさん 50代 女性)

◎マンションに住んでいますが、町内会に入っていないので、災害時に避難所に行ってもいいのかわからない。マンションの住人は不安に思っている方が多いです。(H.Tさん 40代 女性)



窓には飛散防止フィルムを貼っています。転倒しそうな家具は一部屋にまとめて危険個所を減らしています。非常食は、賞味期限が切れそうなものから料理に使っては買い足しています。いかに非常食というものでなくても、レトルト食品が安くお勧めです。(N.Sさん 60代 女性)



慌てないこと。ドカンと来たら、まず一息ついてから動くことが大切です。昭和19年頃に地震を経験しました。畑に、竹で柱を立てて、むしろで屋根、わらで床を作ってひと月暮らしたことがありました。(S.Nさん 男性 T.Nさん 女性)

◎猫を飼っていますが、避難所には動物は連れていけないですね。災害時にペットを預かってもらえる場所がほしいです。(S.Hさん 40代 女性)

◎助けがほしい時の“笛”など、何をどこまで備えればいいのか…。いざという時役に立つかと考えだすと、防災といってもどこまで備えればいいのかと思ってしまう。(K.Kさん 60代 女性)

名城大学Day開催
—教育ときずな—
9/18(土) 10:00~16:00
子どもから大人まで楽しめる
企画が盛りだくさん!
ぜひ、天白キャンパスにご来場ください。

名城大学
天白キャンパス TEL:468-8502 名古屋市中区鶴舞1-501 TEL:(052)832-1151
八事キャンパス TEL:468-8503 名古屋市中区八事1-150 TEL:(052)832-1151
可児キャンパス TEL:509-0261 岐阜県可児市町分4-3-3 TEL:(0574)69-0100

体験利用 見学 随時受付中

・希望される方(介護認定を受けた方)は体験利用(食費400円のみ)でご利用できます。
・見学を希望される方もお気軽にお電話下さい。

隣接する野並保育園の園児との自然な交流が笑顔を呼びます。

野並デイサービスセンター 天白区福池2丁目340番地
http://www.nohonoho.com/index.html nonami.f@yk.commufa.jp **☎896-3434**



「ふれ愛ネット天白」のメンバー紹介

障がい者関係団体や福祉施設、ボランティア団体などが中心となって「だれもが安心して暮らすことのできる天白区」をめざして活動している「ふれ愛ネット天白」。今号もメンバーを紹介します。

天白区手をつなぐ育成会

「育成会」は、知的な障がいのある子どもたちとその家族が、このまち「天白」で安心して普通に暮らせるよう活動しています。親子で参加できるサマーキャンプ・クリスマス会など、企画したボランティアさんと楽しく遊んでいます。また、親向けに学習会や施設見学会なども開催。学校との共催で特別支援学級・学校の児童生徒の「作品展」や「卒業を祝う会」なども行っています。今年度の「作品展」は12月7日(火)～8日(水)、天白区役所講堂にて開催、子どもたちの力作が展示されます。ぜひお越しください。(連絡先:天白区社会福祉協議会)

名古屋市あけぼの学園

市内唯一の(入所の)知的発達に援助が必要なお子さんの施設、生活の場です。植田山に開設されてちょうど50年が経過しました。入所している学齢の子どもたちは隣接の天白養護学校、また大坪・植田北小学校、御幸山中学校などに通っています。学齢を過ぎた方は園内の作業部において結び織り、平織りなどに取り組んでいます。短期入所・日中一時支援事業では全市から利用いただいています。夏には在宅の障がい児・者とそのご家族にプールを開放しています。TEL:781-0155 FAX:781-0269

問合せ先:「ふれ愛ネット天白」事務局(天白区社会福祉協議会内) TEL:809-5550 FAX:809-5551

答え

【天白小学校】

ここはどこ?



答えは、天白小学校です。天白小学校は今年で104年目を迎える天白区で最も歴史のある小学校。当時、周辺は畑や田んぼが多く、学校の南側に集落がありました。小学校の赤い屋根がとても目立っていたそうです。現在の校舎は昭和56年に建て替えられ、正面玄関や二宮金次郎像の場所も変わっています。

天白区内の昔の写真を募集しています。掲載させていただいた方には、500円分の図書カードを進呈します。

この指とまれ! ボランティア・イベント情報

ボ ボランティア イベント

写真展 ボランティアってどんなこと?

ボランティアは特別なことではなく、身近で自然体で行うものであることを語りかける写真展です。現役大学生が中心となって企画しました。

- 日時:10月14日(木)～17日(日)の4日間 10:00～16:30
- 会場:原ギャラリー(地下鉄原駅)・入場無料
- 問合せ先:天白区社会福祉協議会 担当/兼松 (連絡先は本紙1面上部に記載)

※当日お手伝いくださるボランティアさんも募集しています。

視覚障がい者ガイドボランティア養成講座

正しいガイド方法を学び、視覚障がいの方の外出を援助したり、学校での福祉体験をお手伝いしたりするボランティアを養成します。

- 日時:10月6日(水)、13日(水)、20日(水)の3回連続講座 10:00～12:00
- 会場:天白区在宅サービスセンター研修室(地下鉄原駅真上3階)

費用:500円(保険・資料代)

※実習にかかる交通費は実費負担

定員:20名(先着順)

申込:9月30日(木)までに電話またはFAXにて

主催:ガイドボランティアグループ「天白わかば」、天白区社会福祉協議会

問合せ先:天白区社会福祉協議会 担当/中島 (連絡先は本紙1面上部に記載)

傾聴ボランティア養成講座

耳を傾けて、注意深くお話を聴くことを「傾聴」といいます。今、自分の中に悩みを溜めてしまっておうまく発散できない人が多くいます。そういった人の話に耳を傾けるよりよい方法を学びます。

- 日時:12月2日(木)、9日(木)、第3回目未定の3回連続講座 10:00～12:00
- 会場:天白区在宅サービスセンター研修室他(地下鉄原駅真上3階)

費用:250円(保険・資料代)

定員:30名

対象:天白区在住または在学・在勤で受講後に活動可能な方

申込:11月24日(水)までに電話またはFAXにて

問合せ先:天白区社会福祉協議会 担当/中原 (連絡先は本紙1面上部に記載)

誰でもできる点字教室

わずか6点の組み合わせで50音だけでなく英語も数字も表現できる点字。そんな点字と一緒に勉強してみませんか?点字にふれてみたい方、初めて学ぶ方、ぜひどうぞ。

- 日時:11月4日(木)、11日(木)、18日(木)、25日(木)の4回連続講座 10:00～12:00
- 会場:天白区在宅サービスセンター研修室(地下鉄原駅真上3階)

費用:200円(保険・資料代)

定員:20名(先着順)

申込:10月28日(木)までに電話またはFAXにて

主催:点訳ボランティアグループ「みなづき会」、天白区社会福祉協議会

問合せ先:天白区社会福祉協議会 担当/兼松 (連絡先は本紙1面上部に記載)

第5回てんぱく特養・老健ネット施設情報展

区内各施設の展示や入所相談、在宅介護の相談コーナーを設置。また、認知症の方や家族を応援する認知症サポーターの養成講座も開催(午前10時から)します。

- 日時:9月18日(土)、19日(日) 9:00～16:00

会場:天白区役所 講堂

費用:無料・申し込み不要

問合せ先:特別養護老人ホーム八事苑 TEL:834-3000 老人保健施設しおがま TEL:831-8100 天白区役所福祉課 TEL:807-3887

第26回天白区福祉区民のつどい

毎年、天白区民まつりと同時開催しているお祭りイベント。福祉体験やゲームコーナー、授産製品販売、模擬店、ステージなど内容盛りだくさんです!

- 日時:10月24日(日) 10:00～15:00(少雨決行)

会場:天白公園・天白生涯学習センター

【イベントと一緒に盛り上げてくださるボランティアさん募集】

●内容:前日午後1時からのお手伝い、当日の赤い羽根共同募金活動や福祉体験、ゲームコーナーのお手伝い、障がい者の参加補助など

●募集対象:中学生以上の方ならどなたでもOK

●問合せ先:天白区社会福祉協議会 担当/通木(つづき) (連絡先は本紙1面上部に記載)

グループホーム・デイサービス利用の方を募集しています

認知症対応型共同生活介護

カラオケ 囲碁 喫茶店 体操

アメニティホーム

塩 釜

861-2230 FAX 861-2231

名古屋市中区栄区八事3丁目321番地

笑顔あふれる 明るい生活を支援します。

社会福祉法人 天白原福祉会

特別養護 老人ホーム 千寿乃里

事業 ● 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)定員60名
内容 ● 短期入所生活介護(ショートステイ) 定員15名

天白区原三丁目1905番地

見学を希望される方、お気軽にお電話下さい。 ☎847-2941

<http://sky.geocities.jp/senjunosato/index.html>

「ねこ」とのお見合い会

「ねこ」トラブル相談会

9/18(土)10時～14時 天白生涯学習センターにて

「ねこ」の預かりさん募集

委細面談 ☎080-3282-9026

相生地域猫の会 富田



万全のアフターサービス 24時間完全管理

マンション入居者募集中!

マンション・店舗・倉庫・事務所など

親切、ていねいな当社にご相談ください。

住環境良好、新築・1ルーム多数有り!

モデルルーム有り カーテン照明器具プレゼント!

紹介キャンペーン実施中! 詳しくは店頭までお問い合わせください。

本州建設株式会社

- 本社 ● 名古屋市天白区原五丁目1401番地 ☎(052)803-8123(代)
- 名東支店 ● 愛知郡長久手町戸田谷1024番地 ☎(0561)63-1123(代)
- 港支店 ● 名古屋市港区春田野一丁目205番地 ☎(052)303-6123(代)
- 東海支店 ● 東海市富木島町伏見一丁目17番7 ☎(052)604-0808(代)
- 守山支店 ● 名古屋市守山区瀬古東一丁目1801番地 ☎(052)792-5123(代)

ホームページアドレス <http://www.honshu.co.jp/>

